

注3

大学番号：私266

[平成28年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

広島修道大学 人文学部 教育学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人修道学園
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室総合企画課

職名・氏名 課長・栗原 ^{クリハラ} ^{シンジ} 伸治

電話番号 082-830-1102

（夜間） 082-830-1102

F A X 082-830-1324

e-mail kikaku@js.shudo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	34
4. 既設大学等の状況	36
5. 教員組織の状況	38
6. 附帯事項等に対する履行状況等	75
7. その他全般的事項	76

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人修道学園

(2) 大学名

広島修道大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒731-3195

広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学長	(イチカワ タイチ) 市川 太一 (平成22年4月1日)	(ミカミ タカノリ) 三上 貴教 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)
学部長	(ミズノ カズホ) 水野 和穂 (平成28年4月1日)		
学科長等	(ササオ ショウジ) 笹尾 省二 (平成28年4月1日)	(マツザキ マサヒロ) 松崎 雅広 (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学 関係	4 年	100 人	— 年次 人	400 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均入 学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	0.99倍	-倍	
志願者数	1,530 (-) [-]	-	1,263 (-) [-]	-	989 (1) [-]	-	1,098 (-) [-]	-			
受験者数	1,505 (-) [-]	-	1,258 (-) [-]	-	982 (1) [-]	-	1,085 (-) [-]	-			
合格者数	354 (-) [-]	-	313 (-) [-]	-	334 (1) [-]	-	297 (-) [-]	-			
B 入学者数	97 (-) [-]	-	102 (-) [-]	-	103 (1) [-]	-	94 (-) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	0.97		1.02		1.03		0.94				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	97 [-] (-)	- [-] (-)	102 [-] (-)	- [-] (-)	102 [-] (-)	- [-] (-)	94 [-] (-)	- [-] (-)	※平成29年度2年次 他学部からの転部により 1名増 ※平成30年度3年次 編入学により1名増
2年次	/		97 [-] (-)	- [-] (-)	102 [-] (-)	- [-] (-)	102 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		98 [-] (-)	- [-] (-)	102 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		98 [-] (-)	- [-] (-)	
計	97 [-] (-)		199 [-] (-)		302 [-] (-)		396 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	97 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	200 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	1 人	0 人	健康上の理由(1名)
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	303 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1名)
令和元年度	396 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{97} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{200} = \boxed{0.5} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{303} = \boxed{0.33} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{396} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
												修	修
科目	英語読解Ⅳ	1・2後	2								1		
	英語聴解Ⅰ	1・2前	2								3		
	英語聴解Ⅱ	1・2後	2								3		
	英語聴解Ⅲ	1・2前	2								1		
	英語聴解Ⅳ	1・2後	2								1		
	英語コミュニケーションⅠ	1・2前	2								3		
	英語コミュニケーションⅡ	1・2後	2								3		
	英語コミュニケーションⅢ	1・2前	2								2		
	英語コミュニケーションⅣ	1・2後	2								2		
	英語語法研究Ⅰ	1・2前	2								2		
	英語語法研究Ⅱ	1・2後	2								2		
	英語語法研究Ⅲ	1・2前	2								1		
	英語語法研究Ⅳ	1・2後	2								1		
	資格英語Ⅰ	1・2前	2								4		
	資格英語Ⅱ	1・2後	2								4		
	資格英語Ⅲ	1・2前	2								3		
	資格英語Ⅳ	1・2後	2								3		
	英語プレゼンテーションⅠ	1・2前	2								1		
	英語プレゼンテーションⅡ	1・2後	2								1		
	アドバンスト英語(Japanese Film)	2・3・4前	2								1		
	アドバンスト英語(Cross Cultural Communication)	2・3・4前	2								1		
	アドバンスト英語(Contract Bridge and Card Game Culture)	2・3・4前	2								1		
	アドバンスト英語(Aspects of Japanese Language and Society)	2・3・4前	2								2		
	アドバンスト英語(Japanese Studies)	2・3・4前	2								1		
	アドバンスト英語(Video Gaming from East to West)	2・3・4前	2								1		
	オンライン英語実習Ⅰ	1・2前	1								1		
	オンライン英語実習Ⅱ	1・2後	1								1		
	日本語Ⅴ	1・2前	1								1		
	日本語Ⅵ	1・2後	1								1		
	小計(36科目)	—	—										
	外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1前	1								1	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1								1	
		ドイツ語Ⅲ	1前	1								1	
		ドイツ語Ⅳ	1後	1								1	
		フランス語Ⅰ	1前	1								1	
		フランス語Ⅱ	1後	1								1	
フランス語Ⅲ		1前	1								1		
フランス語Ⅳ		1後	1								1		
スペイン語Ⅰ		1前	1								1		
スペイン語Ⅱ		1後	1								1		
スペイン語Ⅲ		1前	1								1		
スペイン語Ⅳ		1後	1								1		
中国語Ⅰ		1前	1								1		
中国語Ⅱ		1後	1								1		
中国語Ⅲ		1前	1								1		
中国語Ⅳ		1後	1								1		
韓国・朝鮮語Ⅰ		1前	1								1		
韓国・朝鮮語Ⅱ		1後	1								1		
韓国・朝鮮語Ⅲ		1前	1								1		
韓国・朝鮮語Ⅳ		1後	1								1		
上級外国語Ⅰ(中国語)		2前	2								1		
上級外国語Ⅱ(中国語)		2後	2								1		
上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)		2前	2								1		
上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)		2後	2								1		
日本語Ⅶ		1・2前	1								1		
日本語Ⅷ		1・2後	1								1		
日本語Ⅸ		1・2前	1								1		
日本語Ⅹ		1・2後	1								1		
言語と文化Ⅰ(ドイツ)		2前	2								1		
言語と文化Ⅱ(ドイツ)		2後	2								1		
言語と文化Ⅲ(ドイツ)		2前	2								1		
言語と文化Ⅳ(ドイツ)		2後	2								1		
言語と文化Ⅰ(フランス)		2前	2								1		
言語と文化Ⅱ(フランス)		2後	2								1		
言語と文化Ⅲ(フランス)		2前	2								1		
言語と文化Ⅳ(フランス)		2後	2								1		
言語と文化Ⅰ(スペイン)		2前	2								1		
言語と文化Ⅱ(スペイン)		2後	2								1		
言語と文化Ⅲ(スペイン)		2前	2								1		
言語と文化Ⅳ(スペイン)		2後	2								1		
言語と文化Ⅰ(中国)		2前	2								1		
言語と文化Ⅱ(中国)		2後	2								1		
言語と文化Ⅲ(中国)	2前	2								1			
言語と文化Ⅳ(中国)	2後	2								1			
言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前	2								1			
言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後	2								1			

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
												修	修
科目	英語リーディングⅡ	1後	1								2		
	英語リーディングⅢ	1前	1								2		
	英語リーディングⅣ	1後	1								2		
	英語リーディングⅤ	1前	1								2		
	英語リーディングⅥ	1後	1								2		
	英語ライティング研究Ⅰ	1・2前	2								1		
	英語ライティング研究Ⅱ	1・2後	2								1		
	英語ライティング研究Ⅲ(未開講)	1・2前	2								2		
	英語ライティング研究Ⅳ(未開講)	1・2後	2								2		
	英語読解研究Ⅰ	1・2前	2								2		
	英語読解研究Ⅱ	1・2後	2								2		
	英語読解研究Ⅲ	1・2前	2								1		
	英語読解研究Ⅳ	1・2後	2								1		
	英語聴解研究Ⅰ	1・2前	2								2		
	英語聴解研究Ⅱ	1・2後	2								2		
	英語聴解研究Ⅲ	1・2前	2								1		
	英語聴解研究Ⅳ	1・2後	2								1		
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1・2前	2								2		
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1・2後	2								2		
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1・2前	2								1		
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1・2後	2								1		
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1・2前	2								1		
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1・2後	2								1		
	英語語法研究Ⅰ	1・2前	2								2		
	英語語法研究Ⅱ	1・2後	2								2		
	英語語法研究Ⅲ	1・2前	2								1		
	英語語法研究Ⅳ	1・2後	2								1		
	資格英語研究Ⅰ	1・2前	2								6		
	資格英語研究Ⅱ	1・2後	2								6		
	資格英語研究Ⅲ	1・2前	2								2		
	資格英語研究Ⅳ	1・2後	2								2		
	資格英語研究Ⅴ(未開講)	1・2前	2								1		
	資格英語研究Ⅵ(未開講)	1・2後	2								1		
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1・2前	2								1		
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1・2後	2								1		
	実用英語実習Ⅰ	1・2前	1								1		
	実用英語実習Ⅱ	1・2後	1								1		
	小計(44科目)	—	—										
	外国語科目 初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	1前	1								1	
		ドイツ語Ⅱ	1後	1								1	
		ドイツ語Ⅲ	1前	1								1	
		ドイツ語Ⅳ	1後	1								1	
		フランス語Ⅰ	1前	1								1	
		フランス語Ⅱ	1後	1								1	
フランス語Ⅲ		1前	1								1		
フランス語Ⅳ		1後	1								1		
スペイン語Ⅰ		1前	1								1		
スペイン語Ⅱ		1後	1								1		
スペイン語Ⅲ		1前	1								1		
スペイン語Ⅳ		1後	1								1		
中国語Ⅰ		1前	1								3		
中国語Ⅱ		1後	1								3		
中国語Ⅲ		1前	1								3		
中国語Ⅳ		1後	1								3		
韓国・朝鮮語Ⅰ		1前	1								3		
韓国・朝鮮語Ⅱ		1後	1								3		
韓国・朝鮮語Ⅲ		1前	1								3		
韓国・朝鮮語Ⅳ		1後	1								3		
上級外国語Ⅰ(ドイツ語)		2前	2								1		
上級外国語Ⅱ(ドイツ語)		2後	2								1		
上級外国語Ⅰ(フランス語)		2前	2								1		
上級外国語Ⅱ(フランス語)		2後	2								1		
上級外国語Ⅰ(スペイン語)	2前	2								1			
上級外国語Ⅱ(スペイン語)	2後	2								1			
上級外国語Ⅰ(中国語)	2前	2								1			
上級外国語Ⅱ(中国語)	2後	2								1			
上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2前	2											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前	2								1	
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後	2								1	
	小計(48科目)	—										
保健体育科目	健康科学論	1・2後	2								2	
	運動科学論	1・2後	2								1	
	健康科学演習	1・2前	2								1	
	運動科学演習	1・2後	2								1	
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2前	1			1					3	
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前	1								2	
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2前	1								1	
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前	1								1	
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前	1			1					1	
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前	1								2	
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2前	1								2	
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2後	1								1	
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1								1	
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2後	1			1					2	
	健康スポーツ実習(ボディアーク)	1・2後	1			1					1	
	健康スポーツ実習(Shudo A P)	1・2後	1								1	
	健康スポーツ実習(アダブテッド・スポーツ)	1・2後	1			2					1	
	運動スポーツ実習(7人制ラグビー)	1・2前	1								1	
	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後	1			1					1	
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前	1								2	
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2前	1								2	
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前	1			1					2	
	運動スポーツ実習(卓球)	1・2前	1								2	
	運動スポーツ実習(ダンス)	1・2前	1			1					1	
	運動スポーツ実習(テニス)	1・2前	1								2	
	運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1								1	
	運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2前	1								2	
	運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2前	1								1	
運動スポーツ実習(ボディアーク)	1・2前	1			1					1		
野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	2前	1			1					2		
野外運動実習Ⅰ(スキー)	2後	1								2		
野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	2前	1								1		
野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2後	1								1		
	小計(33科目)	—										
人文学部総合科目	差別問題論	1前	2								1	
	日本文化史Ⅰ	1・2前	2								1	
	日本文化史Ⅱ	1・2後	2								1	
	Media EnglishⅠ	2・3前	2								4	
	Media EnglishⅡ	2・3後	2								4	
	Business EnglishⅠ	2・3前	2								3	
	Business EnglishⅡ	2・3後	2								3	
	憲法Ⅰ	1・2前	2								2	
	憲法Ⅱ	1・2後	2								2	
	人文学部特別講義(プレゼンテーション論)	1・2前	2								1	
	人文学部特別演習(崩し字解読)	1・2前	2								1	
	インターンシップ	2・3通	2			1					5	
		小計(12科目)	—									
	専攻科目 演習科目群	教育学基礎演習	1前	2			5	3				4
		教育研究演習Ⅰ	2前	2			8	2				4
		教育研究演習Ⅱ	2後	2			8	2				4
教育学演習Ⅰ		3前	2			8	2				4	
教育学演習Ⅱ		3後	2			8	2				4	
教育学演習Ⅲ		4前	2			8	2				4	
教育学演習Ⅳ		4後	2			8	2				4	
卒業研究		4通	4			8	2				4	
		小計(8科目)	—									
専攻科目 専攻科目A群		教育原理	1前	2			1					1
	教育制度論	1後	2								1	
	人権教育論	1後	2								1	
	教育哲学	2・3前	2			1					1	
	教育社会学	2・3前	2								1	
	教育文化史	2・3前	2			1					1	
	教育史	2・3後	2			1					1	
	教育政策論	2・3前	2								1	
	生涯学習論Ⅰ	1・2前	2			1					1	
	生涯学習論Ⅱ	1・2後	2			1					1	
	社会教育計画Ⅰ	1・2前	2			1					1	
	社会教育計画Ⅱ	1・2後	2			1					1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前	2								2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後	2								2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前	2								1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後	2								1
	小計(50科目)	—									
保健体育科目	健康科学論	1・2前	2								2
	運動科学論	1・2後	2								1
	健康科学演習	1・2後	2								1
	運動科学演習	1・2後	2								1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後	1			1					2
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前	1								1
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2後	1								1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前	1								1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前	1			1					1
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前	1								3
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2前	1								3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2前	1								1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1								1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2前	1			1					1
	健康スポーツ実習(ボディアーク)	1・2後	1			1					1
	健康スポーツ実習(Shudo A P)	1・2後	1								1
	健康スポーツ実習(アダブテッド・スポーツ)	1・2後	1			2					1
	運動スポーツ実習(7人制ラグビー)	1・2前	1								1
	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後	1			1					1
	運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2後	1								2
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2前	1								2
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2後	1			1					1
	運動スポーツ実習(卓球)	1・2前	1								2
	運動スポーツ実習(テニス)	1・2前	1								3
	運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前	1								1
	運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2前	1								2
	運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2前	1								1
	運動スポーツ実習(ボディアーク)	1・2前	1			1					1
野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	2前	1			1					2	
野外運動実習Ⅰ(スキー)	2後	1								2	
野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	2前	1								1	
野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2後	1								1	
	小計(30科目)	—									
人文学部総合科目	差別問題論	1前	2					1			1
	日本文化史Ⅰ	1・2前	2								1
	日本文化史Ⅱ	1・2後	2								1
	Media EnglishⅠ	2・3前	2								3
	Media EnglishⅡ	2・3後	2								3
	Business EnglishⅠ	2・3前	2								3
	Business EnglishⅡ	2・3後	2								3
	憲法Ⅰ	1・2前	2								2
	憲法Ⅱ	1・2後	2								2
	English CommunicationⅠ	1・2前	2								2
	English CommunicationⅡ	1・2後	2								2
	人文学部特別講義(プレゼンテーション論)	1・2後	2								1
	人文学部特別演習(崩し字解読・平仮名)	1・2前	2								1
	人文学部特別演習(崩し字解読・漢字)	1・2後	2								1
	インターンシップ	2・3通	2			1					5
	長期インターンシップA	2・3通	1								1
長期インターンシップB	2・3通	4								1	
	小計(18科目)	—									
専攻科目 演習科目群	教育学基礎演習	1前	2			6	7				3
	教育研究演習Ⅰ	2前	2			5	4				3
	教育研究演習Ⅱ	2後	2			5	4				3
	教育学演習Ⅰ	3前	2			6	3				4
	教育学演習Ⅱ	3後	2			6	3				4
	教育学演習Ⅲ	4前	2			7	3				4
	教育学演習Ⅳ	4後	2			7	3				4
	卒業研究	4通	4			7	3				4
		小計(8科目)	—								
	専攻科目 専攻科目A群	教育原理	1前	2			1				
教育制度論		1後	2								1
人権教育論		1後	2								1
教育哲学		2・3前	2								1
教育社会学		2・3前	2								1
教育文化史		2・3前	2			1					1
教育史		2・3後	2			1					1
教育政策論		2・3前	2								1
生涯学習論Ⅰ		1・2前	2			1					1
生涯学習論Ⅱ		1・2後	2			1					1
社会教育計画Ⅰ		1・2前	2			1					1
社会教育計画Ⅱ		1・2後	2			1					1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	中等教育方法論	2・3前	2								1
	初等教育方法論	2・3前	2								1
	幼児理解の方法	2・3後	2								1
	特別支援教育概論	2・3前	2			1					
	重複・発達障害概論	2・3後	2			1					
小計(17科目)	—										
専攻科目 専攻科目B群	教育学特論Ⅰ(教職教養研究)	3前	2				1				2
	教育学特論Ⅱ(初等・教科内容研究)	3後	2			2					
	教育学特論Ⅲ(中等・教科内容研究)	3後	2								1
	教育学特論Ⅳ(幼児・教科内容研究)	3後	2				2				
	教育学特論Ⅴ(体育実技指導研究)	2・3後	2								2
	教育学特論Ⅵ(ひろしまの教育)	2・3後	2				1	1			
	教育学特論Ⅶ(野外活動指導法)	2・3前	2			1					
	教育学特論Ⅷ(絵画表現)	2・3前	2				1				
	教育学特論Ⅷ(レクリエーション)	2・3前	1								1
	教育学特論Ⅸ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1				1				1
	教育学特論Ⅹ(音楽理論とピアノ実技)	2・3後	1				1				1
	教育学特論Ⅹ(発声法)	2・3前	1								1
	社会教育演習	2・3前・中	2			1					
	社会教育実習	3通	2			1					
	学校教育インターンシップ	2・3通	2			1	1				3
小計(15科目)	—										
専攻科目 教職専門科目群	教職入門	1前	2								1
	教育心理学Ⅱ	2・3後	2								1
	中等社会科教育法Ⅰ	3前	2								1
	中等社会科教育法Ⅱ	3後	2								1
	社会科・地理歴史科教育法	3前	2								1
	社会科・公民科教育法	3前	2								1
	中等道德教育論	2後	2								1
	中等特別活動論	2後	2								1
	中等生徒指導論	2前	2								1
	中等教育相談	2後	2								1
	中等教育実習事前事後指導	3・4通	1								2
	中等教育実習Ⅰ	3・4通	2								1
	中等教育実習Ⅱ	4通	2								1
	日本史概論Ⅰ	1前	2								1
	日本史概論Ⅱ	1・2後	2								1
	東洋史概論Ⅰ	1前	2								1
	東洋史概論Ⅱ	1・2後	2								1
	西洋史概論Ⅰ	1前	2								1
	西洋史概論Ⅱ	1・2後	2								1
	人文地理学Ⅰ	2・3前	2								1
	人文地理学Ⅱ	2・3後	2								1
	自然地理学	2・3前	2								1
	地誌Ⅰ	2・3前	2								1
	地誌Ⅱ	2・3後	2								1
	人間観の思想	1・2後	2			1					
	哲学概論Ⅰ	1前	2								1
	哲学概論Ⅱ	1・2後	2								1
	倫理学概論Ⅰ	1前	2								1
	倫理学概論Ⅱ	1・2後	2								1
	法律学概論	1・2後	2								4
	政治学概論	2・3前	2								1
	国際法	2・3後	4								1
	国際政治学Ⅰ	2・3前	2								1
	国際政治学Ⅱ	2・3後	2								1
	現代経済入門Ⅰ	1前	2								1
	現代経済入門Ⅱ	1後	2								1
	教職実践演習(中・高)	4後	2								5
	教職実践演習(幼・小)	4後	2			2	1				
	初等教育実習事前事後指導(小)	3後	1			1					1
	初等教育実習事前事後指導(幼)	3・4後	1				1				1
	初等教育実習Ⅰ	3後	2								1
	初等教育実習Ⅱ	3後	2			1					
	初等教育実習Ⅲ	3・4後	2								1
	教育心理学Ⅰ	2・3前	2								1
	生活科教育法	3前	2			1					
音楽科教育法	3前	2				1					
図画工作科教育法	3前	2				1					
体育科教育法	3前	2			1						
家庭科教育法	3前	2								1	
国語科教育法	2・3前	2								1	
初等社会科教育法	2・3前	2								1	
算数科教育法	2・3前	2								1	
理科教育法	2・3後	2								1	
初等英語教育論	2・3後	2								1	
道徳教育論	2・3前	2								1	
教育相談	2・3前	2								1	
生徒・進路指導	2・3後	2								1	
特別活動論	2・3前	2								1	
初等教育(国語)	1後	2							1		
書写	1前	1								1	
初等教育(社会)	1後	2								1	
初等教育(算数)	1後	2						1			
初等教育(理科)	2・3前	2								1	
初等教育(生活)	2・3後	2						1			
初等教育(体育)	2・3後	2						1			
初等教育(音楽)	2・3後	2						1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	教育方法論	2・3前	2								1
	幼児理解の方法	2・3後	2								1
	特別支援教育概論	2・3前	2								
	重複・発達障害概論	2・3後	2							1	
	小計(16科目)	—									
専攻科目 専攻科目B群	教育学特論Ⅰ(教職教養研究)	3前	2				1	2			
	教育学特論Ⅱ(初等・教科内容研究)	3後	2			2		1			1
	教育学特論Ⅲ(中等・教科内容研究)	3後	2								1
	教育学特論Ⅳ(幼児・教科内容研究)	3後	2					2			
	教育学特論Ⅴ(体育実技指導研究)	2・3後	2								2
	教育学特論Ⅵ(ひろしまの教育)	2・3後	2								
	教育学特論Ⅶ(野外活動指導法)	2・3前	2								
	教育学特論Ⅷ(絵画表現)	2・3後	2						1		
	教育学特論Ⅷ(レクリエーション)	2・3前	1								1
	教育学特論Ⅸ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1						1		1
	教育学特論Ⅹ(音楽理論とピアノ実技)	2・3後	1						1		1
	教育学特論Ⅹ(発声法)	2・3前	1								1
	社会教育演習	2・3前・中	2						1		
	社会教育実習	3通	2						1		
	学校教育インターンシップ	2・3通	2						1	1	3
小計(15科目)	—										
専攻科目 教職専門科目群	教職入門	1前	2								1
	中等社会科教育法B(公民分節)	3後	2								1
	中等社会科教育法B(地理歴史分節)	3後	2								1
	社会科・地理歴史科教育法B	3前	2								1
	社会科・公民科教育法B	3前	2								1
	中等教育実習事前事後指導	3・4通	1								2
	中等教育実習Ⅰ	3・4通	2								1
	中等教育実習Ⅱ	4通	2								1
	日本史概論Ⅰ	1前	2								1
	日本史概論Ⅱ	1・2後	2								1
	東洋史概論Ⅰ	1前	2								2
	東洋史概論Ⅱ	1・2後	2								1
	西洋史概論Ⅰ	1前	2								1
	西洋史概論Ⅱ	1・2後	2								1
	人文地理学Ⅰ	2・3前	2								1
	人文地理学Ⅱ	2・3後	2								1
	自然地理学	2・3前	2								1
	地誌Ⅰ	2・3前	2								1
	地誌Ⅱ	2・3後	2								1
	人間観の思想	1・2後	2								1
	哲学概論Ⅰ	1前	2								1
	哲学概論Ⅱ	1・2後	2								1
	倫理学概論Ⅰ	1前	2								1
	倫理学概論Ⅱ	1・2後	2								1
	法律学概論	1・2後	2								4
	政治学概論	2・3前	2								1
	国際法	2・3後	4								1
	国際政治学Ⅰ	2・3前	2								1
	国際政治学Ⅱ	2・3後	2								1
	現代経済入門Ⅰ	1前	2								1
	現代経済入門Ⅱ	1後	2								1
	教職実践演習(中・高)	4後	2								3
	教職実践演習(幼・小)	4後	2								3
	初等教育実習事前事後指導(小)	3通	1								1
	初等教育実習事前事後指導(幼)	3・4通	1								1
	初等教育実習Ⅰ	3通	2								1
	初等教育実習Ⅱ	3通	2								1
	初等教育実習Ⅲ	3・4通	2								1
	教育心理学	2・3前	2								1
	生活科教育法	3前	2								1
	音楽科教育法	3前	2								1
	図画工作科教育法	3前	2								1
	体育科教育法	3前	2								1
	家庭科教育法	3前	2								1
	国語科教育法	2・3前	2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	文化社会学B	2・3後	2								1
	コミュニティ論A	2・3前	2								1
	コミュニティ論B	2・3後	2								1
	コミュニケーション論A	2・3前	2								1
	コミュニケーション論B	2・3後	2								1
	サブカルチャー論A	2・3前	2								1
	サブカルチャー論B	2・3後	2								1
	国際社会学A	2・3前	2								1
	国際社会学B	2・3後	2								1
	社会安全政策論	1・2前	2								1
	公共政策論	1・2後	2								5
	小計(35科目)	—									
	合計(448科目)	—									
卒業要件及び履修方法											
必修科目36単位、専門科目の選択科目から78単位、修道スタンダード科目から10単位以上、共通教育科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録上限44単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	文化社会学B	2・3後	2								1
	親密性の社会学	2・3前	2								1
	表象文化論	2・3後	2								1
	コミュニケーション論A	2・3前	2								1
	コミュニケーション論B	2・3後	2								1
	サブカルチャー論A	2・3前	2								1
	サブカルチャー論B	2・3後	2								1
	国際社会学A	2・3前	2								1
	国際社会学B	2・3後	2								1
	社会安全政策論	1・2前	2								2
	公共政策論	1・2後	2								4
	小計(35科目)	—									
	合計(497科目)	—									
卒業要件及び履修方法											
必修科目36単位、専門科目の選択科目から78単位、修道スタンダード科目から6単位以上、共通教育科目から22単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録上限44単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 演習科目群	教育学基礎演習	1前	2			4					3	
	教育研究演習Ⅰ	2前	2			8	2				4	
	教育研究演習Ⅱ	2後	2			8	2				4	
	教育学演習Ⅰ	3前	2			8	2				4	
	教育学演習Ⅱ	3後	2			8	2				4	
	教育学演習Ⅲ	4前	2			8	2				4	
	教育学演習Ⅳ	4後	2			8	2				4	
	卒業研究	4通	4			8	2				4	
	小計(8科目)	—										
	専攻科目 専攻科目A群	教育原理(初等)	1前	2			1					1
教育原理(中等)		1前	2			1					1	
教育制度論(初等)		1後	2			2					1	
教育制度論(中等)		1前	2			2					1	
人権教育論		1後	2								1	
教育哲学		2・3前	2	2		1					1	
教育社会学		2・3前	2	2							1	
教育文化史		2・3前	2	2		1					1	
教育史		2・3後	2	2		1					1	
教育政策論		2・3前	2	2							1	
生涯学習論Ⅰ		1・2前	2	2		1					1	
生涯学習論Ⅱ		1・2後	2	2		1					1	
社会教育計画Ⅰ(未開講)		1・2前	2	2		1					1	
社会教育計画Ⅱ(未開講)		1・2後	2	2		1					1	
中等教育方法論		2・3前	2	2							1	
初等教育方法論		2・3前	2	2							1	
初等教育方法論		2・3前	2	2							1	
幼児理解の方法		2・3後	2	2							1	
特別支援教育概論		2・3前	2	2		1					1	
重複・発達障害概論		2・3後	2	2		1					1	
小計(20科目)	—											
専攻科目 専攻科目B群	教育学特論Ⅰ(教職教養研究)	3前	2			1					2	
	教育学特論Ⅱ(初等・教科内容研究)	3後	2			2					1	
	教育学特論Ⅲ(中等・教科内容研究)	3後	2								2	
	教育学特論Ⅳ(幼児・教科内容研究)	3後	2			2					1	
	教育学特論Ⅴ(体育実技指導研究)	2・3後	2	2							2	
	教育学特論Ⅵ(ひろしまの教育)	2・3後	2	2		1	1				1	
	教育学特論Ⅶ(野外活動指導法)	2・3前	2	2		1					1	
	教育学特論Ⅷ(絵画表現)	2・3前	2	2		1					1	
	教育学特論Ⅸ(レクリエーション)	2・3前	1	1							1	
	教育学特論Ⅹ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1	1		1					1	
	教育学特論Ⅺ(音楽理論とピアノ実技)	2・3後	1	1		1					1	
	教育学特論Ⅻ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1	1		1					1	
	教育学特論Ⅼ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1	1		1					1	
	教育学特論Ⅽ(発声法)	2・3前	1	1		1					1	
	社会教育演習	2・3前・中	2	2		1					1	
	社会教育実習	3通	2	2		1					3	
学校教育インターンシップ	2・3通	2	2		1	1				3		
小計(16科目)	—											
専攻科目 教職専門科目群	教職入門(初等)	1前	2								1	
	教職入門(中等)	1前	2								1	
	教育心理学Ⅱ	2・3後	2								1	
	中等社会科教育(地理歴史分科)	3前	2								1	
	中等社会科教育(公民分科)	3後	2								1	
	社会科・地理歴史科教育法	3前	2								2	
	社会科・公民科教育法	3前	2								1	
	中等道德教育論	2後	2								1	
	中等特別活動論	2後	2								1	
	中等生徒・進路指導論	2前	2								1	
	中等教育相談	2後	2								1	
	中等教育実習事前事後指導	3・4通	1	2							2	
	中等教育実習Ⅰ	3・4通	2	2							1	
	中等教育実習Ⅱ	4通	2	2							1	
	日本史概論Ⅰ	1前	2								1	
	日本史概論Ⅱ	1・2後	2								1	
	東洋史概論Ⅰ	1前	2								1	
	東洋史概論Ⅱ	1・2後	2								1	
	西洋史概論Ⅰ	1前	2								1	
	西洋史概論Ⅱ	1・2後	2								1	
	人文地理学Ⅰ	2・3前	2								1	
	人文地理学Ⅱ	2・3後	2								1	
	自然地理学	2・3前	2								1	
	地誌Ⅰ	2・3前	2								1	
	地誌Ⅱ	2・3後	2								1	
	人間観の思想	2・3後	2			1					1	
	哲学概論Ⅰ	1後	2								1	
	哲学概論Ⅱ	1・2後	2								1	
	倫理学概論Ⅰ	1前	2								1	
	倫理学概論Ⅱ	1・2後	2								1	
	法律学概論	1・2後	2								4	
	政治学概論	2・3前	2								1	
国際法	2・3後	4								1		
国際政治学Ⅰ	2・3前	2								1		
国際政治学Ⅱ	2・3後	2								1		
現代経済入門Ⅰ	1前	2								2		
現代経済入門Ⅱ	1後	2								2		
教職実習(初・小・中・高)	4後	2			2	1				2		
初等教育実習事前事後指導(小)	3後	1			1					1		
初等教育実習事前事後指導(幼)	3・4後	1			1					1		
初等教育実習Ⅰ	3後	2								1		
初等教育実習Ⅱ	3後	2								1		
初等教育実習Ⅲ	3・4後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 演習科目群	教育学基礎演習	1前	2			8	5				4	
	教育研究演習Ⅰ	2前	2			7	2				3	
	教育研究演習Ⅱ	2後	2			7	2				3	
	教育学演習Ⅰ	3前	2			8	2				4	
	教育学演習Ⅱ	3後	2			8	2				4	
	教育学演習Ⅲ	4前	2			8	2				4	
	教育学演習Ⅳ	4後	2			8	2				4	
	卒業研究	4通	4			8	2				4	
	小計(8科目)	—										
	専攻科目 専攻科目A群	教育原理	1前	2			1					1
教育制度論		1後	2			2					1	
人権教育論		2・3後	2	2				1			1	
教育哲学		2・3前	2	2				1			1	
教育社会学		2・3前	2	2				1			1	
教育文化史		2・3前	2	2				1			1	
教育史		2・3後	2	2				1			1	
教育政策論		2・3前	2	2				1			1	
生涯学習論Ⅰ(未開講)		1・2前	2	2				1			1	
生涯学習論Ⅱ(未開講)		1・2後	2	2				1			1	
社会教育計画Ⅰ		1・2前	2	2				1			1	
社会教育計画Ⅱ		1・2後	2	2				1			1	
教育方法論		2・3前	2	2				2			1	
幼児理解の方法		2・3後	2	2				2			1	
特別支援教育概論		2・3前	2	2				1			1	
重複・発達障害概論		2・3後	2	2				1			1	
小計(16科目)	—											
専攻科目 専攻科目B群	教育学特論Ⅰ(教職教養研究)	3前	2			2			1		2	
	教育学特論Ⅱ(初等・教科内容研究)	3後	2						2		1	
	教育学特論Ⅲ(中等・教科内容研究)	3後	2								1	
	教育学特論Ⅳ(幼児・教科内容研究)	3後	2						2		1	
	教育学特論Ⅴ(体育実技指導研究)	2・3後	2	2							2	
	教育学特論Ⅵ(ひろしまの教育)	2・3後	2	2				1	1		1	
	教育学特論Ⅶ(野外活動指導法)	2・3前	2	2				1			1	
	教育学特論Ⅷ(絵画表現)	2・3前	2	2					1		1	
	教育学特論Ⅸ(レクリエーション)	2・3前	1	1					1		1	
	教育学特論Ⅹ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1	1					1		1	
	教育学特論Ⅺ(音楽理論とピアノ実技)	2・3後	1	1					1		1	
	教育学特論Ⅻ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前	1	1					1		1	
	教育学特論Ⅼ(発声法)	2・3前	1	1					1		1	
	社会教育演習	2・3前・中	2	2					1		1	
	社会教育実習	3通	2	2					1		3	
学校教育インターンシップ	2・3通	2	2					1		3		
小計(15科目)	—											
専攻科目 教職専門科目群	教職入門	1前	2								1	
	中等社会科教育法B	3前	2								1	
	中等社会科教育法演習B	3後	2								1	
	社会科・地理歴史科教育法B	3前	2								1	
	社会科・公民科教育法B	3前	2								1	
	中等教育実習事前事後指導	3・4通	1	2							2	
	中等教育実習Ⅰ	3・4通	2	2							1	
	中等教育実習Ⅱ	4通	2	2							1	
	日本史概論Ⅰ	1前	2								1	
	日本史概論Ⅱ	1・2後	2								1	
	東洋史概論Ⅰ	1前	2								1	
	東洋史概論Ⅱ	1・2後	2								1	
	西洋史概論Ⅰ	1前	2								1	
	西洋史概論Ⅱ	1・2後	2								1	
	人文地理学Ⅰ	2・3前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
関連学 科科目	心理学概論Ⅰ	1・2前	2									1
	心理学概論Ⅱ	1・2後	2									1
	ヒロシマ文化論Ⅰ	1・2前	2									1
	ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後	2									1
	社会心理学	1・2後	2									1
	認知心理学	1・2前	2									1
	発達心理学	1・2前	2									1
	臨床心理学	1・2前	2									1
	知覚心理学	1・2前	2									1
	生理心理学	1・2後	2									1
	パーソナリティ心理学	1・2前	2									1
	心理療法	2・3前	2									1
	健康心理学	1・2前	2									1
	メディア論Ⅰ	1・2前	2									1
	メディア論Ⅱ	1・2後	2									1
	ジャーナリズム論Ⅰ	1・2前	2									1
	ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後	2									1
	比較社会論	1・2前	2									1
	共生社会論	1・2後	2									1
	現代社会論A	2・3前	2									1
	現代社会論B	2・3後	2									1
	社会意識論A	2・3前	2									1
	社会意識論B	2・3後	2									1
	文化社会学A	2・3前	2									1
	文化社会学B	2・3後	2									1
	コミュニティ論A	2・3前	2									1
	コミュニティ論B	2・3後	2									1
	コミュニケーション論A	2・3前	2									1
	コミュニケーション論B	2・3後	2									1
	サブカルチャー論A	2・3前	2									1
	サブカルチャー論B	2・3後	2									1
	国際社会学A	2・3前	2									1
	国際社会学B	2・3後	2									1
	社会安全政策論	1・2前	2									1
	公共政策論	1・2後	2									5
小計(35科目)	—											
合計(453科目)	—											
卒業要件及び履修方法												
必修科目36単位、専門科目の選択科目から78単位、修道スタンダード科目から6単位以上、共通教育科目から22単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録上限44単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
関連科 目群	心理学概論Ⅰ	1・2前	2									1
	心理学概論Ⅱ	1・2後	2									1
	ヒロシマ文化論Ⅰ	1・2前	2									1
	ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後	2									1
	社会心理学	1・2前	2									1
	認知心理学	1・2前	2									1
	発達心理学	1・2前	2									1
	臨床心理学	1・2前	2									1
	知覚心理学	1・2前	2									1
	生理心理学	1・2前	2									1
	パーソナリティ心理学	1・2前	2									1
	心理療法	2・3前	2									1
	健康心理学	1・2前	2									1
	メディア論Ⅰ	1・2前	2									1
	メディア論Ⅱ	1・2後	2									1
	ジャーナリズム論Ⅰ	1・2前	2									1
	ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後	2									1
	比較社会論	1・2前	2									1
	共生社会論	1・2後	2									1
	現代社会論A	2・3前	2									1
	現代社会論B	2・3後	2									1
	社会意識論A	2・3前	2									1
	社会意識論B	2・3後	2									1
	文化社会学A	2・3前	2									1
	文化社会学B	2・3後	2									1
	コミュニティ論A	2・3前	2									1
	コミュニティ論B	2・3後	2									1
	コミュニケーション論A	2・3前	2									1
	コミュニケーション論B	2・3後	2									1
	サブカルチャー論A	2・3前	2									1
	サブカルチャー論B	2・3後	2									1
	国際社会学A	2・3前	2									1
	国際社会学B	2・3後	2									1
	社会安全政策論	1・2前	2									2
	公共政策論	1・2後	2									5
小計(35科目)	—											
合計(472科目)	—											
卒業要件及び履修方法												
必修科目36単位、専門科目の選択科目から78単位、修道スタンダード科目から6単位以上、共通教育科目から22単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録上限44単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2前	2								1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2後	2								1
	言語と文化Ⅰ(ドイツ)	2前	2								1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2後	2								1
	言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2前	2								1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2後	2								1
	言語と文化Ⅰ(フランス)	2前	2								1
	言語と文化Ⅱ(フランス)	2後	2								1
	言語と文化Ⅲ(フランス)	2前	2								1
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2後	2								1
	言語と文化Ⅰ(スペイン)	2前	2								1
	言語と文化Ⅱ(スペイン)	2後	2								1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2前	2								1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後	2								1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前	2								1
	言語と文化Ⅱ(中国)	2後	2								1
	言語と文化Ⅲ(中国)	2前	2								1
	言語と文化Ⅳ(中国)	2後	2								1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮)	2前	2								2
	言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後	2								2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮)	2前	2								1
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後	2								1
	小計(50科目)	—									
保健体育科目	健康科学論	1・2前・後	2								3
	運動科学論	1・2後	2								1
	健康科学演習	1・2後	2								1
	運動科学演習	1・2後	2								1
	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1・2後	1		1						
	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1・2前	1								2
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2前・後	1								1
	健康スポーツ実習(ソフトバレーボール)	1・2前	1								1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前・後	1								2
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前	1								2
	健康スポーツ実習(テニス)	1・2前・後	1								3
	健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2後	1								1
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前・後	1								1
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2前・後	1								1
	健康スポーツ実習(Shadow AP)	1・2後	1								1
	健康スポーツ実習(アダブテッド・スポーツ)	1・2後	1			2					
	運動スポーツ実習(けつげいスポーツ)	1・2前・後	1								1
	運動スポーツ実習(ゴルフ)(未開講)	1・2後	1								2
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2前・後	1								1
	運動スポーツ実習(ソフトボール)	1・2後	1			1					1
	運動スポーツ実習(卓球)	1・2前・後	1								2
	運動スポーツ実習(テニス)	1・2前・後	1								3
	運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前・後	1								1
	運動スポーツ実習(バドミントン)	1・2前・後	1								2
	運動スポーツ実習(バレーボール)	1・2前・後	1								1
	運動スポーツ実習(ボディーワーク)	1・2前	1		1						
	野外運動実習Ⅰ(キャンプ)	2前	1			1					2
野外運動実習Ⅰ(スキー)	2後	1								2	
野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展)	2前	1								1	
野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2後	1								1	
	小計(30科目)	—									
人文学部総合科目	差別問題論	1前	2								1
	日本文化史Ⅰ	1・2前	2								1
	日本文化史Ⅱ	1・2後	2								1
	Media EnglishⅠ	2・3前	2								3
	Media EnglishⅡ	2・3後	2								3
	Business EnglishⅠ	2・3前	2								3
	Business EnglishⅡ	2・3後	2								3
	憲法Ⅰ	1・2前	2								2
	憲法Ⅱ	1・2後	2								2
	English CommunicationⅠ	1・2前	2								1
	English CommunicationⅡ	1・2後	2								1
	人文学部特別講義(プレゼンテーション)	1・2後	2								1
	人文学部特別演習(国し字検定・平成)	1・2前	2								1
	人文学部特別演習(国し字検定・関平)	1・2後	2								1
	インターンシップ	2・3前	2		1						5
	長期インターンシップ(春学期後修得)	2・3前	1								1
	長期インターンシップA	2・3前	4								1
長期インターンシップB(未開講)	2・3前	8								1	
	小計(18科目)	—									
専攻科目	教育学基礎演習	1前	2			6	6				4
	教育研究演習Ⅰ	2前	2			6	4				3
	教育研究演習Ⅱ	2後	2			6	4				3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目群	教育学演習Ⅰ	3前	2			7	4				3
	教育学演習Ⅱ	3後	2			7	4				3
	教育学演習Ⅲ	4前	2			6	2				4
	教育学演習Ⅳ	4後	2			6	2				4
	卒業研究	4通	4			6	2				4
	小計(8科目)	—									
専攻科目 専攻科目A群	教育原理	1前	2				1				1
	教育制度論	1後	2								1
	人権教育論	1後	2								1
	教育哲学	2・3後		2			1				
	教育社会学	2・3後		2			1				
	教育文化史	2・3前		2							
	教育史	2・3後		2			1				
	教育政策論	2・3前		2							1
	生涯学習論Ⅰ	1・2前		2			1				
	生涯学習論Ⅱ	1・2後		2			1				
	社会教育計画Ⅰ	1・2前		2			1				
	社会教育計画Ⅱ	1・2後		2			1				
	教育方法論	2・3前		2							1
	幼児理解の方法	2・3後		2							1
	特別支援教育概論	2・3前		2			1				
	重複・発達障害概論	2・3後	2				1				
	小計(16科目)	—									
専攻科目 専攻科目B群	教育学特論Ⅰ(教職教養研究)	3前		2		1	2				
	教育学特論Ⅱ(初等・教科内容研究)	3後		2		2	2				1
	教育学特論Ⅲ(中等・教科内容研究)	3後		2							1
	教育学特論Ⅳ(幼児・教科内容研究)	3後		2			2				2
	教育学特論Ⅴ(体育実技指導研究)	2・3後		2							2
	教育学特論Ⅵ(ひろしまの教育)	2・3後		2			4	4			
	教育学特論Ⅶ(野外活動指導法)	2・3通		2		1					
	教育学特論Ⅷ(絵画表現)	2・3後		2			1				
	教育学特論Ⅸ(レクリエーション)	2・3前		1							1
	教育学特論Ⅹ(音楽理論とピアノ実技)	2・3前		1			1				1
	教育学特論Ⅺ(音楽理論とピアノ実技)	2・3後		1			1				1
	教育学特論Ⅻ(発声法)	2・3前		1							1
	社会教育演習	2・3後		2			1				
	社会教育実習	3通		2			1				
	学校教育インターンシップ	2・3通		2			1	1			3
	小計(15科目)	—									
教職専門科目群	教職入門	1前		2							1
	中等社会科教育法B(公民分野)	3後		2							1
	中等社会科教育法B(地理歴史分野)	3後		2							1
	社会科・地理歴史科教育法B	3前		2							1
	社会科・公民科教育法B	3前		2							1
	中等教育実習事前事後指導	3・4通		1							1
	中等教育実習Ⅰ	3・4通		2							1
	中等教育実習Ⅱ	4通		2							1
	日本史概論Ⅰ	1前		2							1
	日本史概論Ⅱ	1・2後		2							1
	東洋史概論Ⅰ	1前		2							2
	東洋史概論Ⅱ	1・2後		2							1
	西洋史概論Ⅰ	1前		2							1
	西洋史概論Ⅱ	1・2後		2							1
	人文地理学Ⅰ	2・3前		2							1
	人文地理学Ⅱ	2・3後		2							1
	自然地理学	2・3前		2							1
	地誌Ⅰ	2・3前		2							1
	地誌Ⅱ	2・3後		2							1
	人間観の思想	2・3後		2							1
	哲学概論Ⅰ	1前		2							1
	哲学概論Ⅱ	1・2後		2							1
	倫理学概論Ⅰ	1前		2							1
	倫理学概論Ⅱ	1・2後		2							1
	法律学概論	1・2後		2							4
	政治学概論	2・3前		2							1
	国際法	2・3後		2							1
	国際政治学	2・3前		2							1
	国際日本学	2・3前		2							1
	現代経済入門Ⅰ	1前		2							3
	現代経済入門Ⅱ	1後		2							3
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4後		2		2	1				2
	初等教育実習事前事後指導(小)	3通		1		1					1
	初等教育実習事前事後指導(幼)	3・4通		1			1				1
初等教育実習Ⅰ	3通		2							1	
初等教育実習Ⅱ	3通		2		1					1	
初等教育実習Ⅲ	3・4通		2							1	
教育心理学	2・3前		2							1	
生活科教育法	3前		2		1						
音楽科教育法	3前		2			1					
図画工作科教育法	3前		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連学科科目	心理学概論Ⅰ	1・2前	2								1
	心理学概論Ⅱ	1・2後	2								1
	ヒロシマ文化論Ⅰ	1・2前	2								1
	ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後	2								1
	社会・集団・家族心理学	1・2②	2								1
	知覚・認知心理学	1・2②	2								1
	発達心理学(未開講)	1・2③	2								1
	臨床心理学概論(未開講)	1・2前	2								1
	知覚心理学	1・2③	2								1
	神経・生理心理学	1・2④	2								1
	感情・人格心理学	1・2④	2								1
	心理療法論	2・3②	2								1
	健康・医療心理学	1・2⑤	2								1
	メディア論Ⅰ	1・2前	2								1
	メディア論Ⅱ	1・2後	2								1
	ジャーナリズム論Ⅰ	1・2前	2								1
	ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後	2								1
	比較社会論	1・2前	2								1
	共生社会論	1・2後	2								1
	現代社会論A	2・3前	2								1
	現代社会論B	2・3後	2								1
	社会意識論A	2・3前	2								1
	社会意識論B	2・3後	2								1
	文化社会学A	2・3前	2								1
	文化社会学B	2・3後	2								1
	親密性の社会学	2・3前	2								1
	表象文化論	2・3後	2								1
	コミュニケーション論A	2・3前	2								1
	コミュニケーション論B	2・3後	2								1
	サブカルチャー論A	2・3前	2								1
	サブカルチャー論B	2・3後	2								1
	国際社会学A	2・3前	2								1
	国際社会学B	2・3後	2								1
	社会安全政策論	1・2前	2								2
	公共政策論	1・2後	2								4
小計(35科目)	—	—									
合計(476科目)	—	—									
卒業要件及び履修方法											
必修科目36単位、専門科目の選択科目から78単位、修道スタンダード科目から6単位以上、共通教育科目から22単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録上限44単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・ 全学共通科目、外国語科目英語科目における兼任数は、入学者数によるクラス編成数による変更。
- ・ 時間割調整により、「地理学」の担当者を「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・ 総合教養コースをオムニバス形式とするため、「世界の言語と文化」を「兼任1」から「兼任・兼任10」に変更。同様に「情報化社会と人間」を「兼任1」から「兼任3」に変更。
- ・ 保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。
- ・ 平成29年4月就任予定の教員を配置人数に含めていたため、「教育学基礎演習」を「教授5、准教授3」から「教授4」に修正。
- ・ 専攻科目のうち、教職課程に関する科目を文部科学省の指導により変更し、兼任の採用、担当者の再編を行った。「教育原理」⇒「教育原理(初等)」、「教育原理(中等)」、教育制度論⇒「教育制度論(初等)」「教育制度論(中等)」「教職入門」⇒「教職入門(初等)」「教職入門(中等)」、「中等社会科教育法Ⅰ」⇒「中等社会科教育(地理歴史分野)」「中等社会科教育法Ⅱ」⇒「中等社会科教育法(公民的分野)」、「中等生徒指導論」⇒「中等生徒・進路指導論」「初等生徒指導論」⇒「初等生徒・進路指導論」
- ・ 全学的な教職課程履修者の受講者対応のため、「現代経済入門Ⅰ」「現代経済入門Ⅱ」の担当者を「兼任1」から「兼任2」に変更。

【平成29年度】

- ・ 情報処理科目の見直しにより、情報処理科目の名称を「情報処理入門」から「情報処理入門Ⅰ」に、「情報処理入門Ⅱ」の詳細科目名を変更。併せて担当者の見直しを実施。
- ・ グローバル科目の再編により、担当者数を変更。
- ・ 留学生教育科目のうち、「日本研究」に詳細科目名を設定。
- ・ 留学支援教育科目に、留学先で取得した単位の認定科目として「海外研修A～E」を追加。
- ・ 国際共修科目について、詳細科目名を設定。
- ・ 教養科目の担当者の時間割編成により「西洋文学」「西洋史」「経済学」「総合教養講義a(家族と法)」「総合教養コース(情報化社会と人間)」の担当者数を変更。
- ・ 外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な英語科目の担当者数を変更。
- ・ 初修外国語の上級クラスを充実させるため、ドイツ語、フランス語、スペイン語に上級科目を設置。それにより、クラス担当者数を変更。
- ・ 保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。

【平成30年度】

- ・ 担当者の退職、採用により、「修大基礎講座」の「教授2、准教授3、兼任1」から「教授1、准教授3、兼任2」に変更。同様に「初年次セミナー」が「教授8、准教授2」から「教授6、准教授5」に変更。
- ・ 少人数クラスにするため「情報処理入門Ⅰ」の担当者を「兼任2」から「兼任4」に変更。
- ・ 交換留学生のクラス充実のため「日本語Ⅱ」「日本語Ⅴ」「日本語Ⅷ」のクラスを増設、「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・ グローバルコース履修者への授業充実を図るため、「グローバル特講Ⅰ」を「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・ 兼任の退職により、「芸術学」「地理学」が「兼任1、兼任1」から「兼任1」に変更。
- ・ 兼任の採用により、「経済学」「教養講義」が「兼任2」から「兼任2、兼任1」に変更、教養講義(現代経済学)が「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・ 科目担当者の時間割調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」が「兼任4」から「兼任2」に変更。
- ・ 外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な英語科目の担当者数を変更。
- ・ 保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。
- ・ 全学的な教職課程履修者の受講者対応のため、「現代経済入門Ⅰ」「現代経済入門Ⅱ」を「兼任2」から「兼任3」に「東洋史概論Ⅰ」を「兼任1」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・ クラス再編、担当者の時間割調整により「Media English」を「兼任4」から「兼任3」に変更。
- ・ 派遣先を増設したことにより「インターンシップ」を「兼任4」から「兼任5」に変更。
- ・ 専任の退職、採用によりクラスを再編し、「演習科目」の「専任」「准教授」「兼任」の担当者数を変更。
- ・ オムニバス形式の科目に変更したことから「教育学特講Ⅳ(ひろしまの教育)」を「教授1、准教授1」から「教授4、准教授4」に変更。
- ・ 兼任教授から兼任講師への変更により「人間観の思想」を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 持ち時間数の調整により「知的障害教育学」「知的障害指導法」を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 兼任の退職により「公共政策論」を「兼任5」から「兼任4」に変更。

【令和元年度】

- ・ クラス数調整により「情報処理入門Ⅰ」を「兼任3」から「兼任2」、情報処理入門Ⅱ(情報と表現)を「兼任4」から「兼任5」に変更。
- ・ 科目充実のため「グローバル特講Ⅰ」の「兼任・兼任2」を「兼任3」に変更。
- ・ 海外セミナーに担当者を割り当てたため「海外研修A」「海外研修B」「海外研修C」「海外研修D」「海外研修E」に「兼任1」を追加した。
- ・ 担当者の体調により「多文化交流プロジェクト(地方の魅力)」を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・ 時間割調整により「心理学」の「講師1」から「教授2」に変更。
- ・ 授業時間割の調整により「地理学」の「兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 時間割調整により「教養講義(現代経済学)」の「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・ クラス数調整により「英語ライティング研究Ⅰ」「英語ライティング研究Ⅱ」の「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ クラス数調整により「英語リスニングⅠ・Ⅱ」「英語リーディングⅠ・Ⅱ」を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更し、「英語リスニングⅤ・Ⅵ」「英語リーディングⅤ・Ⅵ」を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 授業時間割の調整により「健康科学論」の「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ クラス数調整により「韓国・朝鮮語Ⅰ～Ⅳ」を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ クラス数調整により「健康スポーツ実習(ソフトボール)」を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」、健康スポーツ実習(卓球)を「兼任・兼任2」を「兼任・兼任3」、「運動スポーツ実習(ゴルフ)」を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ クラス数調整により「English CommunicationⅠ・Ⅱ」の担当者を増やし、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 授業内容を充実させるため「教育研究演習Ⅰ・Ⅱ」「教育学演習Ⅰ～Ⅳ」について担当者を調整した。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	426 科目	0 科目	448 科目	14 科目 [Δ8]	483 科目 [57]	0 科目 [0]	497 科目 [49]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	広島学(広島県の経済構造)	2	3	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
2	広島学(歴史・産業)	2	2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
3	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2	2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
4	教養講義(西洋の音楽)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講で調整中。
5	教養講義(西欧近代史)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講で調整中。
6	教養講義(社会と政治)	3	1・2	一般	選択	担当者時間割調整により、次年度開講で調整中。
7	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講で調整中。
8	総合教養講義a(日本の社会および経済の文化的基礎)	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講で調整中。
9	総合教養講義a(江戸時代の化粧・結髪)	2	1・2	一般	選択	担当教員の時間割調整により、次年度開講で調整中。
10	総合教養講義a(情報と社会)	2	1・2	一般	選択	担当教員の時間割調整により、次年度開講で調整中。
11	総合教養講義a(神仏と芸能)	2	1・2	一般	選択	担当教員の時間割調整により、次年度開講で調整中。
12	総合教養講義b(和紙)	2	1・2	一般	選択	担当教員の時間割調整により、次年度開講で調整中。
13	英語ライティング研究Ⅲ	2	1・2	一般	選択	クラス数調整により、次年度開講で調整中。
14	英語ライティング研究Ⅳ	2	1・2	一般	選択	クラス数調整により、次年度開講で調整中。
15	資格英語研究Ⅴ	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
16	資格英語研究Ⅵ	2	1・2	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	総合教養講義 a (近現代の美学)	2	1・2	一般	選択	全学的な教養科目の見直しにより科目削除。
2	総合教養講義 a (現代社会と会計)	2	1・2	一般	選択	全学的な教養科目の見直しにより科目削除。
3	情報処理基礎(プレゼンテーション)	2	1・2前・後	一般	選択	全学的なカリキュラム改正に伴う科目の廃止。
4	総合教養講義a(環境経営入門)	2	1・2前	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
5	総合教養講義a(生活保障論)	2	1・2後	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
6	総合教養講義a(自然環境と災害)	2	1・2前	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
7	アドバンスト英語(Japanese Film)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
8	アドバンスト英語(Cross Cultural Communication)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
9	アドバンスト英語(Contract Bridge and Card Game Culture)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
10	アドバンスト英語(Aspects of Japanese Language and Society)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
11	アドバンスト英語(Japanese Studies)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
12	アドバンスト英語(Video Gaming from East to West)	2	2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講するため廃止。
13	健康スポーツ実習(ポテワーク)	1	1・2後	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
14	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1	1・2後	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
15	運動スポーツ実習(ダンス)	1	1・2前	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
16	人文学部特別演習(崩し字解説)	2	1・2前	専門	選択	教育効果を考慮し、当初開講予定であった当該科目を「平仮名」「漢字」の2科目に分けて開講することとしたため。
17	中等教育方法論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育方法論を新設。
18	初等教育方法論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育方法論を新設。
19	教育心理学Ⅱ	2	2・3後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育心理学を新設。
20	中等社会科教育法Ⅰ	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。中等社会科教育法Bを新設。
21	中等社会科教育法Ⅱ	2	3後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。中等社会科教育法演習Bを新設。
22	社会科・地理歴史科教育法	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。社会科・地理歴史科教育法Bを新設。
23	社会科・公民科教育法	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。社会科・公民科教育法Bを新設。
24	中等道德教育論	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。道德教育論を新設。
25	中等特別活動論	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。特別活動論を新設。
26	中等生徒・進路指導論	2	2前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。生徒・進路指導論を新設。
27	中等教育相談	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育相談を新設。
28	教職実践演習(中・高)	2	4後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教職実践演習(幼・小・中・)
29	教職実践演習(幼・小)	2	4後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教職実践演習(幼・小・中・)
30	教育心理学Ⅰ	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。教育心理学を新設。
31	初等道德教育論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を共通開設したことによる科目廃止。道德教育論を新設。

3 2	初等教育相談	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教育相談を新設。 教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。生徒・進路指導論を新設。 教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。特別活動論を新設。 平成29年度に開設した国際コミュニティ学部 部に左記「地域イノベーションコース」科 目の関連科目（一部）を置くこととしたた め、廃止とし、以下の科目を他学部履修科 目として履修できることとした。 地域コミュニケーション、ソーシャルイ ノベーション論、地域プロジェクトA（ひろし ま未来協創プロジェクト、イノベーション プロジェクトI・IIの後継科目）、地域プ ロジェクトB（ひろしま未来協創プロジェク ト、イノベーションプロジェクトI・IIの 後継科目）、グローバル・プロジェクト入 門（ひろしま未来協創特講の後継科目）
3 3	初等生徒・進路指導論	2	2・3前	専門	選択	
3 4	初等特別活動論	2	2・3前	専門	選択	
3 5	地域イノベーション論	2	1・2前・後	一般	選択	
3 6	地域コミュニケーション論	2	1・2前・後	一般	選択	
3 7	ひろしま未来協創プロジェクト(都心のコミュニケーション)	2	2・3前	一般	選択	
3 8	ひろしま未来協創プロジェクト(中山間地域のコミュニケーション)	2	2・3後	一般	選択	
3 9	ひろしま未来協創プロジェクト(過疎地域のコミュニケーション)	2	2・3後	一般	選択	
4 0	ひろしま未来協創プロジェクト(過疎地域のイノベーション)	2	2・3前	一般	選択	
4 1	ひろしま未来協創プロジェクト(都心のイノベーション)	2	2・3後	一般	選択	
4 2	ひろしま未来協創プロジェクト(中山間地域のイノベーション)	2	2・3後	一般	選択	
4 3	ひろしま未来協創特講(ファシリテーション入門)	1	1・2前	一般	選択	
4 4	ひろしま未来協創特講(ワークショップ・スキル入門)	1	1・2前	一般	選択	
4 5	ひろしま未来協創特講(広島地域のテーマ発見)	1	1・2後	一般	選択	
4 6	ひろしま未来協創特講(過疎地域のテーマ発見)	1	1・2後	一般	選択	
4 7	ひろしま未来協創特講(地域コミュニケーションデザイン:ツール)	1	1・2前	一般	選択	
4 8	ひろしま未来協創特講(発見・デザイン・しまなみ)	1	1・2前	一般	選択	
4 9	ひろしま未来協創特講(地域コミュニケーションデザイン:プログラム)	1	1・2後	一般	選択	
5 0	ひろしま未来協創特講(発見・デザイン・まちなか)	1	1・2後	一般	選択	
5 1	ひろしま未来協創特講(プロジェクトマネジメント入門)	1	1・2後	一般	選択	
5 2	ひろしま未来協創特講(体験から学ぶ人間関係づくり)	1	1・2後	一般	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入して
 ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通科目の教養科目については、詳細付の科目であり、担当者によって変遷する。
 また、地域イノベーションコースの見直しにより、一部は国際コミュニティ学部地域行政学科の主専攻科目として
 開設され、他学部の履修を認めている。
 教育職員免許法の改正により教職専門科目群が変更となっている。
 これらについての学生への周知は、シラバスの担当表をホームページに掲載しているほか、ガイダンスにおいて
 も履修に際しての注意事項として喚起している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、
 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{68}{448} = \boxed{15.17} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように
 留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	運動場用地に校舎を建築したことによる。(29)					
	校舎敷地	36,805㎡ 34,865㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡ 34,865㎡						
	運動場用地	101,957㎡ 103,897㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡ 103,897㎡						
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡						
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡						
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡						
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	建築計画と登記上の誤差による。(29)					
		70,640㎡ 70,930㎡ (65,955㎡) -(66,180㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	70,640㎡ 70,930㎡ (65,955㎡) -(66,180㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 校舎を建築したことによる。(29)					
	98室 97室	17室	65室 48室	18室 (補助職員 一人)	7室 8室 (補助職員 一人)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	人文学部教育学科			13 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
		冊	種	[うち外国書]				点	点	点	
		教育学科	880,525[235,708] 880,849[235,914] 874,652[236,827] 66,681[18,431] 67,913[18,431]	5,961[2,579] 5,876[2,554] 5,663[2,500] 430[237] 427[232]				12,656[12,597] 13,227[13,167] 12,918[12,298] 889[885]	23,658 23,542 22,730 1,728 1,693		
		計	(880,525[235,708]) (870,349[234,634]) (849,122[232,467]) (41,142[11,358]) (41,935[11,539])	(5,961[2,579]) (5,876[2,554]) (5,663[2,500]) (276[152]) (274[149])				(12,656[12,597]) (13,227[13,167]) (12,918[12,298]) (572[570])	(23,658) (23,372) (22,390) (1,087) (1,064)	()	()
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 増席(29)					
	11,700㎡	952 948		1,200,000							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要									
	8,871㎡	屋内プール 1面	野球場 1面	陸上競技場 1面	アーチェリー場 1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子ジャーナル・データベース整備費(運用コスト含む)を含む		
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	8,154千円 6,108千円	6,754千円 8,047千円	12,372千円			
	共同研究費等	0千円 1,000千円	1,000千円	設備購入費	9,424千円 9,440千円	9,999千円 18,340千円	16,679千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	開設年度事業終了に伴う執行額確定のため。(29)			
	1,250千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	一千円	一千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等									

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島修道大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
商学部	年	人	年次人	人		倍				
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.10		昭和35年度	広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号	
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.13		昭和38年度	同上	
経済科学部										
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.09		平成9年度	同上	
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.09		平成9年度	同上	
人文学部										
人間関係学科	4	60	—	240	学士 (文学)	1.15		昭和48年度	同上	
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—		昭和48年度	同上	平成29年より 学生募集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.15		昭和48年度	同上	
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—		昭和48年度	同上	平成28年より 学生募集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	0.99	平成28年	平成28年度	同上	
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.11		昭和48年度	同上	
法学部										
法律学科	4	195	—	780	学士 (法学)	1.09		昭和51年度	同上	
国際政治学科	4	—	—	—	学士 (国際政治学)	—		平成2年度	同上	平成30年より 学生募集停止
人間環境学部										
人間環境学科	4	115	—	460	学士 (人間環境学)	1.08		平成14年度	同上	
健康科学部										
心理学	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.09	平成29年	平成29年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	1.00	平成29年	平成29年度	同上	
国際コミュニティ学部										
国際政治学科	4	75	—	300	学士 (国際政治学)	1.05	平成30年	平成30年度	同上	
地域行政学科	4	75	—	300	学士 (地域行政学)	1.10	平成30年	平成30年度	同上	
商学研究科										
商学専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.12		昭和46年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.16		昭和48年度	同上	
経営学専攻										
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.45		昭和52年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00		昭和52年度	同上	
経済科学研究科										
現代経済システム専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.18		平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.00		平成15年度	同上	
経済情報専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.18		平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00		平成15年度	同上	

人文科学研究科									
心理学専攻									
博士前期課程	2	14	—	28	修士 (心理学)	0.38	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.00	昭和56年度	同上	
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上	
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.30	昭和59年度	同上	
英文学専攻									
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.70	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和56年度	同上	
法学研究科									
法学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.10	昭和56年度	同上	
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0.15	平成6年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

「5教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (平成27年6月)	鈴峯女子短期大学食物栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	鈴峯女子短期大学食物栄養学科について、平成28年学生募集を停止することとした。(28)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし	該当なし	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし	該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年3月)	該当なし	該当なし	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

広島修道大学FD・SD規定に基づき、全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学大学運営会議で審議する。各学部、研究科については、それぞれFD推進委員会を組織している。教育学科が所属する人文学部にも、人文学部FD推進委員会が設置されている。また、教育学科は、教育内容、教育方法等の改善を図るために、教育学科会議を開催し、必要に応じてFD活動を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<大学運営会議>

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。令和元年度も4月15日の大学運営会議の議題「令和元年度研修計画について」で平成30年度の研修実施実績報告と令和元年度の研修計画が承認された。

<人文学部FD推進委員会>

年に2回以上開催。人文学部専任教員及び学部担当教務職員が参加する。

<教育学科会議>

毎月定例で開催。教育学科所属教員すべてが参加する。

c 委員会の審議事項等

<大学運営会議>

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

<人文学部FD推進委員会>

1. カリキュラム・授業科目の構成について
2. 授業科目のシラバス・授業計画の内容について
3. 授業の方法について
4. 履修指導について
5. 厳正で客観的な成績評価方法について
6. 成績評価結果の告知方法について
7. 進級制度及び進級認定について
8. 最終試験及び卒業認定について
9. 授業アンケートについて
10. その他必要な事項について

② 実施状況

a 実施内容

全学では、教員の資質向上のために、大学改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目指したFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目指した組織的な公開授業等を行っている。人文学部では、カリキュラム、成績評価、授業の方法等について研修会を行っている。

b 実施方法

すべての教員が参加しやすいように、定例教授会の前後に開催するようにしている。例えば、FD・SD研修会は定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行う。人文学部FD推進委員会や教育学科会議も定例教授会の終了後に連続して開催している。また、FD・SD研修会では、大学を構成する各部局がその取り組みを共有できるように報告者を工夫したり、人文学部では研修テーマについて各学科、専攻が事前に各取り組みを整理するなどして、それぞれの研修の目的を達成できるように努力している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

〈全学〉

・FD・SD研修会

年2～3回開催。令和元年度は、現時点で、第1回「修道力フォーラム（予定）」（8月5日）、第2回「テーマは調整中」（10月9日）の開催が決定している。平成30年度は以下の通りであった。

第1回「経常費補助金とは？」

（6月13日開催 参加者数：教員157名、職員75名）

第2回「修道力フォーラム—配慮を要する学生への対応について—」

〈第1部〉 発達障がいのある学生への対応

「発達障がいのある学生をどう教育し、どう評価するか？」

「障害者差別解消法施行後の本学の体制と事例報告」

〈第2部〉 広島修道大学の学生対応のいまを語る

〈パネルディスカッション〉

「教育現場での課題と対応を探る」

（8月3日開催 参加者数：教員169名、職員114名）

第3回「「修道力フォーラム」フィードバックと展望」

（10月10日開催 参加者数：教員156名、職員95名）

・教育力アップセミナー（新任教員対象）

平成30年度

「修大を知ろう より効果的な授業のために」

①「学び方の個性を知る—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

②「違いから学ぼう—各自が抱える教育課題の解決に向けて—」

（8月31日開催 参加者数：教員11名、職員2名）

・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。令和元年度は5月24日から6月21日までを前期公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成30年度は、111名の教員が189クラスで公開授業を実施し、延べ85名の教員が参加をして授業研究を行った。

〈人文学部〉

平成30年度のFD推進委員会のテーマは以下の通りであった。

第1回 「不適応学生への対応：カリキュラムベースでの対応の可能性」（7月11日開催 参加者数：34名）

第2回 「人文学部におけるグローバル教育について」（12月21日開催 参加者数：36名）

〈教育学科〉

毎月2時間程度をかけて行われる学科会議（構成人員17名）では、その時その時の教育学科学生の生活面や学習面の課題解決に向けて共通理解を図っているが、特筆するものとするれば、平成30年6月13日の「データから見た教育学科の現状と教育的課題」としてFDであろう。毎年、2年生、3年生、4年生の時系列的SA・GPAの成績データの分析及び卒業生の小学校採用試験合格とSA・GPA成績とのクロス分析結果を比較するなどして、学生指導の在り方を検討するものである。その分析結果は、教育学専攻から教育学科へと定員を50人から100人へ2倍にしたことによる質の低下という懸念を払拭するものとなった。平成31年1月16日の学科会議では、教育学科第一期生の卒論作成年度を前に、4年間の学修成果の集大成である卒業論文の発表会形式やルーブリックによる評価方法の改善について議論を行った。

令和元年度は、教育学科完成年度以降のカリキュラム改革についてのFD研修を展開していく。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFDでは、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。人文学部FDでは、研修結果を各学科、専攻の会議にフィードバックするよう努めている。また、教育学科のFDは、まさに日々の教育に直結する内容ばかりであり、各教員が自らの教育指導に反映させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回（前期・後期）定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成30年度は通年で366名の教員が実施し（専任教員の実施率は99.0%）、一人あたりの平均実施科目数は3.34科目であった。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、本人のみならず学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

・科目分類別の授業アンケート集計表

・実施集計表（学部単位の実施者数および率）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該 当 な し

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学科は、端的に言えば、6-3-3-4制の多様化や柔軟化、幼児教育の質の向上、特別支援教育の充実などの今日の社会的要請に応え、・社会の幅広い教育的ニーズに対応できる教育者の育成、・個性的・自律的な教育者の養成、・他者や多様な環境に配慮できるコミュニケーション能力を備えた教育者の育成、・生涯にわたって研究と修養に励むことのできる教育力を備えた教育者の養成を目的としている。特に、意味のある2種類の資格及び免許状の取得を奨励し、2年次からは、初等教育コース、学校教育コース、教育科学コースに分かれる。教育学科のこれらの設置趣旨・目的や2年次からのコース内容については、教学センターガイダンス、教職課程ガイダンス、教育学科教員ガイダンス、教育学基礎科目等で折に触れて、しっかりと学生に認識させ、履修指導を行ってきた。この結果、2016年度生(一期生)は初等教育コース33名、学校教育コース39名、教育科学コース26名、2017年度生(二期生)は初等教育コース40名、学校教育コース34名、教育科学コース28名、2018年度生(三期生)は初等教育コース34名、学校教育コース46名、教育科学コース23名となり、バランスのとれたコース制を維持している。また、2016年度生(一期生)の資格・免許希望者の内訳は、保育士20名、幼稚園33名、小学校54名、中学校41名、高校24名、特別支援教育学校24名、2017年度生(二期生)の資格・免許希望者の内訳は、保育士26名、幼稚園39名、小学校49名、中学校55名、高校27名、特別支援教育学校16名、2018年度生(三期生)の資格・免許希望者の内訳は、保育士21名、幼稚園33名、小学校29名、中学校46名、高校21名、特別支援学校28名であった。

また、2016年度生(一期生)98名の成績は累積GPA平均2.23、2017年度生(二期生)102名の成績は累積GPA平均2.34、2018年度生(三期生)102名の成績は累積GPA平均2.47であり、ともに学科の教育目標に沿った教育に向けて良好な滑り出しができていていると考えている。さらに、2019年度入試でも、定員100名に対して全入試制度で1,098名が志願し、94名が入学した。この結果からも、引き続き、教育学科の設置趣旨、教育目的等を十分理解し、興味を持った学生が入学してきたと確信している。これからも、教育学科の設置趣旨・目的を達成するために編成されたカリキュラムを確実に履行しながら、教育上も研究上も関係教員が絶えず協働していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和元年8月1日 公表

b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』(1993年～)、『広島修道大学白書』(1999年度～)、『広島修道大学の現況』(2009年度～)として刊行し、社会に公開している。また、Webサイトでも同様の情報公表を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度、及び平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受け、適合と判定されている。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 7月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。